



芳賀町 議会だより

No.132

平成22年5月19日発行



唐桶溜がため池百選に選定

農林水産省の「ため池百選選定委員会」において、全国約21万のため池の中から、唐桶溜(かるけのため)が「ため池百選」に選定されました。

これは、「農業の礎」「歴史・文化・伝統」「景観」「生物多様性」「地域とのかかわり」などの選定基準により認められたものです。

3月議会定例会

平成22年度予算	2
平成22年度一般会計予算・質疑	3~4
条例制定・改正	5
平成21年度補正予算・指定管理者指定・臨時議会	6
常任委員会予算審査結果	7
一般質問	8~14
聲<こえ>私の言いたいこと	15
議会日誌・議会運営委員会	16

□編集／芳賀町議会広報常任委員会

□発行／芳賀町議会
〒321-3392 栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020
電話 028(677)6023 FAX 028(677)6057
<http://www.town.haga.tochigi.jp/gikai/index.html>

3月定例議会

総額109億6,250万円を可決

— みんなで創る やすらぎと豊かさに満ちたまち 芳賀 —

平成22年3月議会定例会は、3月2日から3月12日までの11日間開催しました。

定例会には、平成22年度一般会計、各特別会計予算をはじめ、平成21年度補正予算、条例制定・改正などが提出され、各常任委員会付託も含めて慎重な審議がなされました。

定例会は、全件原案のとおり可決されました。



3月議会定例会から演壇を新設し、対面式による1問1答方式での質疑を行うことになりました。

最重点施策

- 子育て支援の充実
- 高齢者福祉の充実
- 情報化の推進
- 農業振興

重点施策

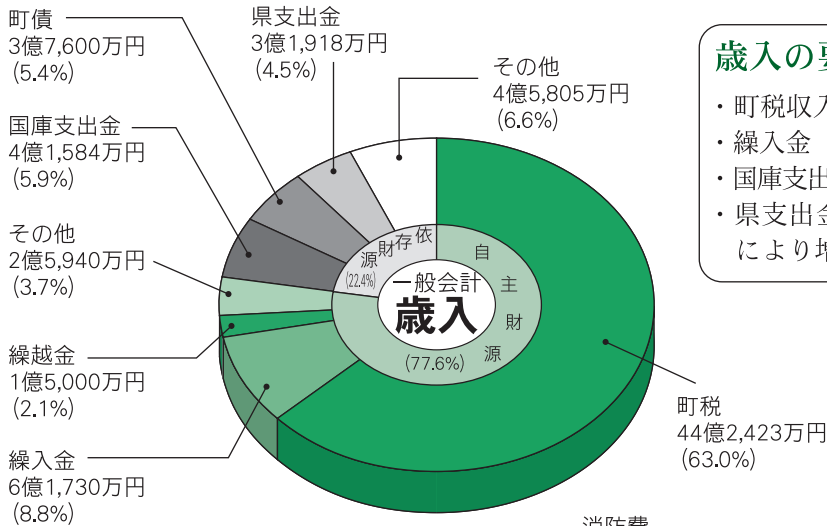
- ・学校教育の充実
- ・資源循環型社会の構築
- ・利便性の高い道路網の形成
- ・商工業、観光の振興
- ・健康づくりの推進
- ・計画的な町づくりの推進

平成22年度 各会計予算

(単位：千円) ▲は減

会計別	区分	平成22年度当初予算額	平成21年度当初予算額	増 減	伸 び 率	
一	一般会計	7,020,000	6,721,000	299,000	4.4%	
特別会計	国民健康保険	1,845,000	1,815,000	30,000	1.7%	
	老人保健	2,200	2,200	0	0.0%	
	農業集落排水事業	308,000	185,000	123,000	66.5%	
	工業団地排水処理センター	73,000	87,000	▲14,000	▲16.1%	
	介護保険	保険事業勘定	1,089,000	987,593	101,407	10.3%
		サービス事業勘定	5,200	3,771	1,429	37.9%
	公共下水道事業	145,000	260,000	▲115,000	▲44.2%	
	祖母井南部土地区画整理事業	321,000	431,000	▲110,000	▲25.5%	
	宅地造成事業	21,400	21,644	▲244	▲1.1%	
後期高齢者医療	132,700	109,248	23,452	21.5%		
合 計		10,962,500	10,623,456	339,044	3.2%	

平成22年度 一般会計 歳入・歳出予算内訳

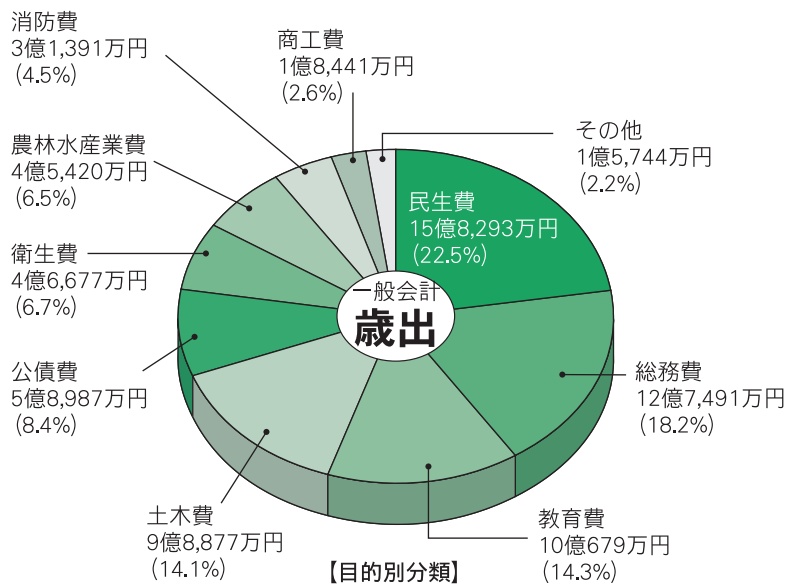


歳入の要点

- ・町税収入が全体の63.0%を確保。
- ・繰入金（基金からの繰り入れ）は（前年比）減額。
- ・国庫支出金はこども手当て費負担金などにより増額。
- ・県支出金は農道整備事業、緊急雇用創出事業などにより増額。

歳出の要点

- ・民生費はこども手当て給付費新設により（前年比）増額。
- ・総務費は旧高橋小解体工事、光の道整備事業が増額となるが全体では減額。
- ・教育費は芳賀中大規模改造工事が完了し、減額。
- ・土木費は道路新設改良事業などにより増額。
- ・農林水産業費は農道整備、里山林整備事業により増額。



【目的別分類】

○平成22年度一般会計予算に対する主な質疑

【質疑】 石川 保議員 労働費、雇用対策委託料の内容は。

【質疑】 石川 保議員 シルバー人材への作業委託、税務課の課税資料整備、情報館資料整備の業務委託で、県費で100%補助されます。

【質疑】 石川 保議員 里山林づくりが22年度は増額になっているが。

【質疑】 石川 保議員 環境対策課長 東高橋地区、富士山自然公園近辺の下草刈りと、その後の管理を行います。面積の増による増額です。

【質疑】 増淵さつき議員 ホームページ構築業務委託費が増額されているが。

【質疑】 増淵さつき議員 ホームページ構築業務委託費の導入の2つを行います。

【質疑】 増淵さつき議員 AEDの未設置施設はどのくらい残っているか。

【質疑】 増淵さつき議員 22年度予算対応により学校、保育園は完了します。

【質疑】 増淵さつき議員 生涯学習課長 未設置の情報館には22年度計画していますが、水橋分館は未定です。

【質疑】 大島 浩議員 学校跡地

管理費の工事内容は。

総務課長 旧高橋小の建物解体工事、休憩施設とトイレ工事、火災報知の設備工事などです。

【質疑】 大島 浩議員 農業者年金加入推進の内容は。

【質疑】 大島 浩議員 農政課長 農業者さんへお願いして推進しています。21年4月1日現在の新制度加入者数は21人、被保険者数は46人です。

【質疑】 小林一男議員 ホームページ運営費で、効率的な運営が可能なCMSシステムの内訳は。

【質疑】 小林一男議員 ハード・ソフトウェアのリース、コンサル、導入支援、データの移行、新規ページの作成、維持費などです。

【質疑】 小林一男議員 行政評価



役場設置のAED(自動体外式除細動器)

の推進について、結果が出た場合は速やかに公表するのか、また、早急な改善は。

町長 公表と改善が目的です。できれば決算時期ぐらいに公表し、改善に取り組みます。

質疑 杉田貞一郎議員 利子、配当金の運用は。

会計課長 2年定期、国債、普通預金などです。

質疑 杉田貞一郎議員 雇用対策において、民間、シルバー委託により実施するようだが、離職者救済についてどう考えるか。

商工観光課長 直接の支援、がしにくい。ため、新規雇用の場を拡大する雇用対策と理解願います。
町長 町の直接雇用についても今後検討します。

質疑 篠崎重治議員 道普請事業について、昨年度で減額になつてはいるが、実績は。

建設課長 昨年の実績は、与能2カ所、東水沼1カ所、下高根沢1カ所の計4カ所です。

質疑 篠崎重治議員 新規事業のアンテナショップ調査と薬草の試験栽培の内容は。

農政課長 アンテナショップ調査費は、芳賀、茂木、高根沢町で組織する推進協議会で行う、首都圏への野菜出荷検討調査旅



緊急雇用対策事業(シルバー人材センター委託事業)

費です。薬草試験栽培は、芳賀工業団地内企業への提供を前提に、遊休農地を利用して出荷できればとの考えです。

質疑 岩村治雄議員 予算編成にあたり、地域座談会での要望はどの程度反映できたか。

町長 要望は、予算を要するもの、要しないものがあるが、内容を検討し、予算対応しました。

質疑 岩村治雄議員 消防ポンプ車の耐用年数は。

総務課長 概ね19年から20年を経過したものについて更新していききたい。計画に基づき、22年度は2台を計上しました。これを含め、これから9台の緊急車両

きるのは、3年先になると思われず。

質疑 小林信二議員 補正予算において、町税の大幅歳入増加が見られるが、当初予算編成時の基準、内容は。

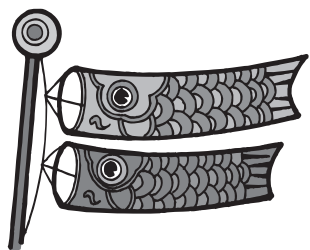
税務課長 町民税個人については新聞報道などを参考に、法人は決算見込みについて企業訪問を行いました。固定資産税は、前年度などを勘案して計上しています。

質疑 小林信二議員 7名分の交通指導員費について、報酬額が低いのでは。

総務課長 月額平均報酬は県平均を下回っていますが、報償費で期末手当相当の25カ月分を計上し、年間支給額を49万3千円としました。これにより県平均51万7千円に近づけました。

〈特別会計〉

- ・ 国民健康保険特別会計 (質疑・討論なし 原案可決)
- ・ 老人保健特別会計 (質疑・討論なし 原案可決)
- ・ 農業集落排水事業特別会計 (質疑 大島 浩議員 討論なし 原案可決)
- ・ 芳賀工業団地排水処理センター特別会計 (質疑・討論なし 原案可決)
- ・ 介護保険特別会計 (質疑・討論なし 原案可決)
- ・ 公共下水道事業特別会計 (質疑・討論なし 原案可決)
- ・ 祖母井南部土地区画整理事業特別会計 (質疑・討論なし 原案可決)
- ・ 宅地造成事業特別会計 (質疑・討論なし 原案可決)
- ・ 後期高齢者医療特別会計 (質疑・討論なし 原案可決)



町条例の 制定と改正

□芳賀町一般旅券印紙等

購買基金条例の制定

内容 県の権限委譲により一般旅券の交付事務を町で行いますが、申請に必要な印紙、証紙の売りさばきを行うため、基金を設けるための制定です。

質疑 小林俊夫議員 パスポートの交付事務を、権限委譲によつて各市町が行うという認識で良いか。

住民課長 平成22年10月1日から県の権限委譲により、旅券（パスポート）の交付事務を行います。申請から交付まで1週間程度を想定しています。

（討論なし 原案可決）

□芳賀町民会館設置及び管理

に関する条例の一部改正

内容 総合情報館図書館がオープンしたため、利用されていない会館図書室を多目的室として利用するため、一部改正するものです。

質疑 増淵さつき議員 どのよ



町民会館 旧図書室

うな形で使用できるのか説明願いたい。

生涯学習課長 音響設備の付設とホールの平台を利用してステージとして、また、工業団地撤退企業よりいただいたテーブル、いすを活用し、会議室のよ

うな利用を考えています。

質疑 小林一男議員 会議室は総合情報館にもある。どのような使い方を想定しているか。

生涯学習課長 会館の2階に、研修室とリハーサル室がありますが、昇降で高齢の方に負担をかけています。1階の施設として利用しやすいのではないかと、また、小ホールのな使い方も想定しています。

（討論なし 原案可決）

□芳賀町特定疾患者福祉
手当支給条例の一部改正

内容 国の制度が改正されたことによる認定基準の変更と、対象者の資格基準日を10月1日とするための改正です。

質疑 大根田哲夫議員 町内で特定疾患の該当者はどのくらいか。健康福祉課長 昨年、90名ほどが年間2万円の手当を受給しています。病名は、成人で58、小児で11の病気が該当します。

（討論なし 原案可決）

□芳賀町生ごみの収集運搬及び
処理に関する条例の一部改正

内容 生ごみ回収専用袋を20リットルに統一し単価を10円に値下げする改正です。

質疑 小林一男議員 基本的な考え方は、生ごみの収集量を増やしたいのか、それとも可燃生ごみを減らしたいのか。

環境対策課長 生ごみの中部環境衛生事務組合での処理量が減れば、負担金が減額になる。生ごみ堆肥化も進めたい、両方の思惑です。

質疑 増淵さつき議員 生ごみは小袋が良いと言う人が多い。

そういう声はなかったのか。
環境対策課長 20リットルの一般家庭用は、バケツと一緒に使っていたので統一しました。

（討論なし 原案可決）

□芳賀町農業集落排水事業受益
者分担金徴収条例の一部改正

内容 和泉ニュータウン生活雑排水を、農業集落排水施設に接続するにあたり、一部の補助対象外事業費を分担金で徴収できるようにする改正です。

質疑 関口一夫議員 改正を行うに施工した場合、町負担の増減は。

都市計画課長 補助対象外の費用2,370万円が増となります。



改修予定の東水沼集落排水処理センター

質疑 小林隆志議員 これは特殊な事例と思われるが、同様な事例があるか。また、新規加入の取り扱いは。

都市計画課長 確認できている範囲で事例はありません。新規加入金は85万円をいただいています。

（討論なし 原案可決）

□芳賀町消防団員の定員、任免
給与、服務等に関する条例の
一部改正

内容 活動助長費補助金の見直しによる廃止相当額を、年額報酬に加算するための改正です。

質疑 見目 匡議員 消防団各部への補助金廃止との事ですが、その補助金額と運営補助の考え方は。

総務課長 11の部と本部で総額208万円です。この金額を団員報酬に上乗せします。

企画課長 今回のことは、全体的に運営補助金と言う形をなくしていこうとした結果です。

町長 団員の皆さんには報酬として使っていたきたい。運営については自治会などからの助成が運営費補助金になります。

（討論なし 賛成多数 原案可決）

平成21年度補正予算

3月定例会可決（単位：千円） △は減額

会計別	区分	補正額	補正後の 予算額	補正歳出の主なもの
一般	一般会計	417,917	8,358,275	基金積立金 412,254 祖母井南部土地区画整理事業 繰出し金 103,050
特別	国民健康保険	△12,928	1,911,580	保険財政共同安定化事業拠出金 △10,370
	老人保健	8,746	122,295	一般会計繰出し金 8,736
	農業集落排水事業	△4,290	192,870	施設管理費 △4,700
	工業団地排水処理センター	3,790	90,790	基金積立金 4,290
	介護保険	93,004	1,110,910	居宅介護サービス等給付費 29,000 施設介護サービス給付費 37,000 介護給付費準備積立金 14,477
	公共下水道事業	△11,000	275,000	総務管理費 3,949 建設事業費 △7,949 公債費元金 △7,000
	祖母井南部土地区画整理事業	△8,000	465,227	区画整理事業費 △8,000
	宅地造成事業	△21,491	153	一般会計繰出し金 △21,473
	後期高齢者医療	247	114,786	他会計繰出し金 247

補正予算 一般会計補正予算 — 質疑応答 —

質疑 小林信二議員 町税歳入について説明願いたい。
答 事務課長 法人町民税、固定資産税（土地、家屋、償却資産）において、当初見込み額を超えることとなりました。
質疑 大島 浩議員 予防接種

事業費の減額内容は、健康福祉課長 インフルエンザ委託料ですが、2月末で千人を超えましたが、予定した人員の3分の1の状況です。
質疑 増淵さつき議員 地域ネットワーク整備費での、工事費から補償補填への組み替え内容は。
答 企画課長 電柱の移設、移転、補強について、東電への支払い



ロマンの湯メタンガス除去装置

となるため適正科目に移し、繰り越し実施します。
質疑 小林一男議員 教育費において、なぜ中学校だけ光熱費が減額なのか。
答 ことも育成課長 現在耐震工事を施工中ですが、電気設備が省エネ設計になったこと、水の使用量が減ったことが要因です。
質疑 篠崎重治議員 商工費工事費の1,100万円減額内容は、商工観光課長 温泉法改正によるメタンガス除去装置の付設工事ですが、県などと協議の結果、最も経済的な施工が可能になりました。
質疑 小林俊夫議員 里山林づくり整備事業費の減額内容は、環境対策課長 県の指導単価の改正により不要額が生じました。
質疑 小林隆志議員 スクールバス運行事業費減額内容は、

ことも育成課長 委託業者の入札結果による執行残の減額です。
 （討論なし 原案可決）

〈特別会計〉

- ・ 国民健康保険特別会計
 （質疑・討論なし 原案可決）
- ・ 老人保健特別会計
 （質疑・討論なし 原案可決）
- ・ 農業集落排水事業特別会計
 （質疑・討論なし 原案可決）
- ・ 芳賀工業団地排水処理センター特別会計
 （質疑・討論なし 原案可決）
- ・ 介護保険特別会計
 （質疑・討論なし 原案可決）
- ・ 祖母井南部土地区画整理事業特別会計
 （質疑 杉田貞一郎議員 討論なし 原案可決）

指定管理者の指定

地方自治法の規定により指定期間の終了に伴い、指定管理者を指定するものです。
 （質疑・討論なし 原案可決）

施設名称 モテナス
 管理団体 芳賀町商工会
 指定期間 平成22年4月1日
 ～平成27年3月31日

臨時議会

平成22年第1回議会
 臨時会（1月29日招集）
 平成21年度芳賀町
 一般会計補正予算

内容 3,992万4千円を増額、総額を79億4,035万8千円とするものです。主な歳入は町民税法人税割が65万1千円、国庫臨時交付金3,336万3千円です。歳出の主なものは、交付金活用の町道舗装工事などです。

質疑 増淵さつき議員
 小林信二議員
 小林俊夫議員
 （討論なし 原案可決）

平成22年第3回議会
 臨時会（3月30日招集）
内容 工事請負契約の締結について
 平成21年度光の道整備事業建設工事請負契約についてです。
質疑 小林一男議員
 （討論なし 原案可決）



常任委員会予算審査

平成22年度一般会計及び各特別会計は、各常任委員会に付託されました。各常任委員会は、3月8日、9日、10日に町執行部の出席を求め、書類審査と現地調査を行いました。慎重に審査した結果、全予算を原案通り可決しました。

各常任委員会での意見などは、次のとおりです。

総務常任委員会



和泉ニュータウン排水処理施設調査

○対象の課、局

総務課・企画課・税務課・環境対策課・会計課・監査委員事務局

○書類審査 3月8日、10日

○現地調査 3月9日

和泉ニュータウン排水処理施設、

芳賀工業団地内ホンダエンジニアリングへの払い下げ検討町道、
旧水沼小学校、旧高橋小学校、(有)ドンカメ

審査意見

重点事業である光の道整備事業は、平成23年4月サービス開始を目指し、地区説明会を行っているが、出席者が少ない。事業を効率的に進めるために、加入率50%を超えることが重要であるため、周知を徹底し、加入促進を図られたい。

教育民生常任委員会



芳賀中学校調査

※協問協答：問題を共有し、互いに答えを考えること

○対象の課

健康福祉課、住民課、こども育成課、生涯学習課

○書類審査 3月8日、9日

○現地調査 3月10日

芳賀中学校、東水沼通学危険箇所、町民会館旧図書室

審査意見

平成22年度最重点施策として、子育て支援の充実と高齢者福祉の充実を掲げている中で、保育園民営化と地域密着型介護老人福祉施設建設計画が予定されています。当年度は計画樹立にあたるので、執行部は財政面を考慮し、基本的方針を具体的に示しつつ、議会との*協問協答の中で最善の施策を見い出すよう努められたい。

産業建設常任委員会



東水沼免の内堰調査

○対象の課

農政課、商工観光課、建設課、都市計画課

○書類審査 3月8日、10日

○現地調査 3月9日

和泉ニュータウン排水処理施設、町道荒屋敷唐桶線、免の内堰、
東水沼集落排水処理施設、芳賀工業団地管理センター、
町道上横西・西秋場線

審査意見

本年度最重点施策の「農業振興」については、さまざまな事業を展開することになった。農産物の価格が低迷している現在、これらの事業の推進により経営安定が図られるよう、広く関係機関と連携し、より多くの農業者に周知されるよう推進されたい。

家庭からの廃食油を燃料として資源活用を！

町一初期投資、費用対効果を含め検討したい



杉田貞一郎 議員

問 家庭からの廃食油の回収により、バイオディーゼル燃料に精製し、軽油の代替燃料としてゴミの回収車や、公用車の燃料として資源活用の考えはないか伺います。

平成22年度中に検討を

答 町長 地球温暖化対策として廃食油を回収、精製し、バイオ燃料としてディーゼルエンジン車に利用する取り組みが、各地の自治体や事業所で行われています。

現在町内の学校や保育園、「ロマンの湯」などから排出される年間7千リットルの廃食油は、回収業者に販売しています。初期投資や精製コストなどの費用対効果を含め、平成22年度中に検討いたします。

問 プラントとかコストを考えると、民間企業とのタイアップも考えられますが？

答 町長 考えていきたいと思いますが、茂木町が今年度この事業に取り組むため、一緒にやろうかとの話もありました。

そういう面も考えていきたいと思えます。

小水力発電導入の考えは？

問 芳賀町の豊かな川や、農業用水路の水を利用して発電する小水力発電は、今後家庭や自動車での利用が考えられます。導入について町として今後どのように考えているか伺います。

検討しますが、状況は

答 町長 環境にやさしいエコタウンを目指し、太陽光発電システムの設置補助などグリーンエネルギーに対して支援を行っています。小水力発電は、栃木県地域新エネルギービジョ



学校給食からも廃食油が排出



太陽光発電システム設置住宅

知恵を絞って取り組みます

ンの中で、太陽光発電などにも再生可能なエネルギーと位置づけられています。水量や落差、設置コスト、水利権などの課題も含め、地域の特性を踏まえて検討します。

当町においては、年間の水量などの確保の問題と、設備費用に対してどのくらいの発電量が確保できるかが問題です。現在の状況ではなじまないのではな

今後の取り組みは？

問 環境問題については、全国的にも常に先進的に取り組んできた芳賀町ですが、今後どのような取り組みをお考えでしょうか。

答 町長 現在行っている諸施策をより一層充実させるとともに、「環の町芳賀」の思想構築のため、学校などの教育活動の中で、引き続き環境についての教育を行っていきます。また、当町では、他市町に先駆けて環境問題に取り組んで成果を上げてきましたが、最近ごみの減量化などについて排出量に変化が少なく、若干停滞しているように感じています。町民の皆さんへのPRが不足しているのではないかとも思っています。担当課とのディスカッションを行っていますが、これからも知恵を絞って、また、新しいことにも取り組んでいきたいと考えています。

高齢者保健福祉の施策は？



町一振興計画に基づいて

見目 匡 議員

問 少子高齢化が進み、人口の減少により日本経済も不況から脱却できず、地方自治体も財政悪化が心配されています。そのような中、高齢化率は益々上がり、高齢者保健福祉の施策は行政の重要課題です。町長の高齢者保健福祉に対する理念と、中・長期の施策を伺います。

町長 22年度は、施設の受け入れ法人を選定したいと考えています。町で建設用地を提供し建設は法人が行う手法を考えています。希望する法人には、手法を提案していただき、選定委員会において、22年度中に決定します。

「町高齢者総合保健福祉計画」を策定

答 町長 第5次振興計画に基づいて、芳賀町高齢者総合保健福祉計画を策定し、基本方針を「安心と健康を地域が支える福祉の町を目指して」としました。

実現のための基本項目は、①健康づくり ②生きがいづくり ③生活支援づくり ④安心な町づくりです。高齢者の方が住みなれた地域で、健やかに安心して住み続けられる町づくりを目指します。

問 「地域密着型介護老人福祉施設」の建設についてですが、この施設は、芳賀町の住民だけが利用できる施設と認識しています。建設は23年度予定

施設が供用開始されると、百万円増加します。介護保険料負担を増やさないために、一般会計からの繰り入れが可能か伺います。

町長 介護制度には自費と負担のバランスが必要で、サービが増えれば負担は増えます。この施設を建設するにあたり、すでに条例を制定していますが、保険料は段階的に引き上げるようになります。一般会計からの繰り入れについては、国保財政では赤字の場合に繰り入れを行っている町村があるように聞いていますので、可能と考えます。

問 提案理由の説明で、介護支援ボランティア制度の充実のための調整と聞かれています。

町長 提案理由の説明で、介護支援ボランティア制度の充実のための調整と聞かれています。

答 町長 これからの高齢者保健福祉は、非常に大事だと認識しています。答弁の中で述べてきたことを、ぜひとも実施したいと考えます。

問 高齢者保健福祉について、非常に重要な部分だと思えますが、もう1度高齢者保健福祉に対するお考えを伺います。

町長 更なる高齢者保健福祉の充実のため、地域包括支援センター職員の増員をすべきと考えますが？

町長 重点施策の職種は増員も必要と考えます。人事異動の中で検討します。

町長 すべてを行政で行うというわけにはいきません。今までも各自治会と協議してきましたが、地域内での見守りが必要と感じています。引き続き協議などを行ってまいります。

答 町長 すべてを行政で行うというわけにはいきません。今までも各自治会と協議してきましたが、地域内での見守りが必要と感じています。引き続き協議などを行ってまいります。

町長 更なる高齢者保健福祉の充実のため、地域包括支援センター職員の増員をすべきと考えますが？

町長 重点施策の職種は増員も必要と考えます。人事異動の中で検討します。

町長 これからの高齢者保健福祉は、非常に大事だと認識しています。答弁の中で述べてきたことを、ぜひとも実施したいと考えます。

町長 これからの高齢者保健福祉は、非常に大事だと認識しています。答弁の中で述べてきたことを、ぜひとも実施したいと考えます。

町長 これからの高齢者保健福祉は、非常に大事だと認識しています。答弁の中で述べてきたことを、ぜひとも実施したいと考えます。



安心とゆとりの老後(写真提供ケアライフゆいの杜)

町農政の方向性は？

町一自給力向上が図れるよう推進します



小林 俊夫 議員

問

平成22年度の行政経営方針実現のために、最重要施策とした4項目の1つに、「魅力ある農業を振興するために、新たな国の政策に対応するとともに、後継者育成やブランド化推進など、町独自事業の充実を図ります」とありますが、振興計画と併せ、町農政の方向性を伺います。

新制度を有効活用し
自給力の向上を

答

町長 国農政の転換により、価格補てん制度の「米戸別補償モデル事業」、戦略作物の振興を図り、自給力向上を目指す「水田活用自給力向上



21年度事業で整備された「猿久保線」
(下高根沢地内)

事業」が創設されました。

町としては国、県、関係機関の協力を得て、多くの農業者が制度を有効活用し、自給力向上が図れるよう周知の徹底を推進します。

問

町の新たな事業は？

答

町長 「新規就農者・農業後継者支援事業」は、町内の先進農家に技術研修などの受け入れをお願いし、1年程度の研修期間で自立いただけるよう事業を計画しています。受け入れ農家、研修生それぞれに報奨金を交付し、後継者が誕生した場合は、祝い金を支給します。

問

前政権と現政権の政策では、転作にかかる交付金、補助金額の差はどうなるのでしょうか？

答

農政課長 米、麦、大豆の栽培農家を例にすると、21年度、22年度では、ほぼ同額になりますが、生産目標面積を達成した農家については、10a当たり1万5千円の定額部分が上乗せ交付されるので、プラスになると考えています。

問

戸別補償制度の周知はどのように行いますか？

答

農政課長 集落などで説明会の要望があれば、(水田協のグループになると思いますが)説明にお伺いし、制度の定着を図っていきます。

問

平成22年度に検討する基本計画は重要だと聞いておりますが、農業分野についての説明を伺います。

答

町長 振興計画の検討を、22年度に行うわけですが、政策アドバイザーとして、分野の専門の方に意見をいただき、

問

具体的な説明を伺います。

答

町長 農道整備、土地改良事業、町独自の転作奨励金の交付など多くの事業を実施していきたい。提言をいただければ、プラスしていきたいと考えています。

問

振興計画において、地域農業者リーダー育成と継続支援とありますが、どのような推進か伺います。

答

町長 「フレッシュファーマーアカデミー塾」を開設し、農業後継者の方に講演会や研修会の参加、意見交換などを通じ、農業への理解と知識の向上を図っていきます。

問

アグリビジネスにおいて、農商工が連携していくことについてのお考えを伺います。

答

町長 ぜひとも成功させたいと思います。具体的な情報がありましたらお教えください。

芳賀町のDV対策は進むのか？

町一DV対策基本計画は22年度振興計画で検討

※ DV=夫や恋人など、身近な男性から女性が受ける暴力



増淵さつき 議員

問

DV被害者の支援に取り組む民間団体や、専門家による「第12回全国シェルターシンポジウム」が、昨年11月に宇都宮市内で開催され、延べ2千人が参加し、DV根絶を目指して被害者支援や暴力防止について話し合われました。シンポジウム開催後は、DV対策が飛躍的に進むと言われています。町のDV対策の取り組みについて伺います。

パンフレットで

啓蒙活動

答

町長 昨年7月にDV講演会を開催し、約70名の参加を得ました。シェルターシンポジウムには、助成するとともに民生・児童委員と職員が参加し、知識や情報の共有化を図り、DVへの理解を深めました。庁舎内の窓口にはパンフレットを置き、啓蒙活動を行っています。

問

当町での相談件数と相談体制は。

答

町長 昨年3月に1件、電話での問い合わせは3件ほどあり、県や関係機関との連

携を図り、相談業務を進めていきます。

問

相談窓口の体制として、直通回線を設ける予定は。

答

町長 専用電話回線については今後検討します。

問

DV根絶に向けた教育という面で、中学校においてもデートDVの予防教育が必要ではありませんか。

答

教育長 校長会などで今後検討していきます。

問

DV対策基本計画策定の予定はありますか。

答

町長 平成22年度の振興計画の中でどのようにするか検討していきます。

問

民間シェルターへの運営費助成の考えはありますか。

答

町長 宇都宮市、小山市、那須塩原市、日光市、佐野市などにおいて運営の支援を行っています。町として前向きに検討したいと考えています。

予防接種助成の予定は？

予定は？

問

ワクチンの接種により、重症感染症を防ぐことができるヒブワクチンや、小児肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防ワクチンなど予防接種の助成の予定について伺います。

関係機関と

相談、検討

答

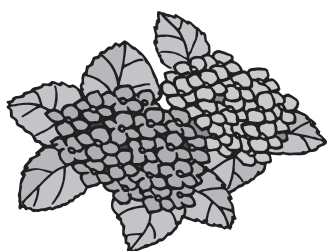
町長 国や他市町の動向を注視し、町医師会など関係機関の意見を聞きながら検討していきます。



全国シェルターシンポジウム
(県総合文化センター)

その他の質問

- ・自殺予防対策について
- ・防犯灯のLED化について
- ・歩道の整備について



何故に進まぬ男女共同参画社会！！

町一協力し合って社会を形成



大根田和子 議員



日本女性会議開会式(堺市)

問

男女共同参画社会基本法が施行されて10年が経過しましたが、政策、方針決定過程の参画は緩やかな現状です。したがって、女性軽視の社会のしきたりはあまり改善されていません。なぜ進まないのでしょうか。男女共同参画社会推進についての対応策を伺います。

協力し合って

答

町長 社会を形成しているのは男性と女性です。両方が協力し合って社会を形成しているものだと考えます。

問

ジェンダー平等教育についてどう考えますか？

答

町長 非常に大切なことだと思います。現在までに歴史的な経過があり、なかなか進まない面があります。

答

教育長 意識を改革するということが大切であり、幼児期の時からの教育が非常に必要だと思います。引き続き教育を進めていきます。

問

男女共同参画が進展しないから結婚がしにくい面があります。「婚活」について行政の対応を伺います。

答

農政課長 男女40名程度の参加により、年に1回婚活パーティを行っています。その後の結果などについては、行政としての関与を控えています。

問

町の人事についても、画期的に女性の登用を考えていただけると良いと思います。どのようにお考えですか？

答

町長 町としては、幹部職員に女性を登用しています。

す。課長職1名のほか、課長補佐、係長職において多くの女性職員がおりますが、今後も進めていきます。

高齢者対策は

問

ひとり(夫婦)暮らしの高齢者に対し、どのような対応を行っているのか伺います。

支援と共助、見守りで

答

町長 地域包括支援センターを拠点として、地域で暮らす高齢者の皆さんを、介護、福祉、健康、医療などの面から支える相談に応え、町内17カ所の生きがいサロンで、ひとりでも多くの高齢者が、元気で生きがいを持って暮らせるよう支援しています。また、高齢者のひとり暮らしや高齢者のみの世帯に、福祉タクシー券の支給や、条件付きで緊急通報装置の貸与事業、住宅用火災報知機購入設置費助成事業などを行っています。

社会福祉協議会では、高齢者の安否の確認を兼ねた配食サービスを行っています。今後も連

携し、ボランティア活動の支援と地域での見守りネットワークづくりを進め、地域での共助、見守りが図られるよう専心していきます。

問

もしも、突然倒れてしまったときの対策は？

答

健康福祉課長 要介護、要支援を受けている高齢者の方には、包括支援センターから連絡調整を図っています。

問

フードデザートについてご存知か伺います。

答

町長 大型店が出店して、地域のお店が少なくなり、高齢者が買い物できないという話を聞いています。社会福祉協議会では、運転、買い物ボランティアを実施しています。商工会なども相談しながら進められればと考えます。

※フードデザート＝食の砂漠

地産給食についての施策は？



町一米飯給食の回数を増やします

小林 一男 議員

問 地産給食を、今後発展維持するための施策について伺います。

連絡会議の機能を強化します

答 教育長 芳賀町における学校給食については、学校家庭、地域を結んだ独創的な食育が行われ、各方面から高く評価されています。

現在、「芳賀町食育推進計画」を作成していますが、その中で給食に地産産物の農産物を取り入れ、生産者の顔が見える地産地消を進めるよう規定していきます。さらに、具体的取り組みとして、米飯給食を、週4回に増やす予定です。また、生産者と学校との地産地消連絡会議の機能を強化するなどの対策により、事業の継続と発展を図っていきます。

問 現在、各学校ごとに給食食材の発注がされているようですが、スケールメリットの観点から芳賀町で一本化することはできないでしょうか。

答 町長 現在一本化されているのは、当町のような自校調理ではなく給食センター調理がほとんどなのですが、教育委員会と相談して検討していきたいと思っています。

子どもたちの安全安心対策は？

問 1月26日、東水沼地内で、小学生に対する変質者情報がありました。季節柄、変質者情報の増加が予想されますが、その対策について伺います。

巡回指導の体制を拡充します

答 教育長 現在町では、スクールガードリーダー2人体制で登下校時の巡回指導を行い、不審者や事故情報は、迅速に連絡し対応いただいています。4月からは小学校区ごと3人体制に拡充し、活動をお願いする予定です。また、地域で子どもを守るという意識を醸成し、PTA、自治会、老人クラブ等を通じて協力を募り安全確保に努めて行きます。



3月に策定された「芳賀町食育推進計画」

食べ物を正しく理解し、食べ物が自然の恵みを基に生育し、それを育てた人たちに感謝し、食べ物を大切にする心を育む「食育」を推進します。

問 近隣地域で不審車両に対する注意を喚起する看板が設置されています。町で設置の計画はありませんか。

また、広報や防災無線の活用については今後細部を検討いたします。

答 総務課長 警察と協議の上、設置に向けて検討したいと思っています。

問 不審者が出た場合の近隣住民への周知はどのようにするのでしょうか。

答 総務課長 真岡警察署の不審者通報システムの活用方法の周知を行っていきます。



祖母井中部・北部地区の整備計画について

町一地域と協働のまちづくりを



小林 信二 議員



地元説明会(西町公民館)

問 祖母井市街地整備について、中部、北部整備計画についての進捗状況は。また、芳賀高校跡地の住宅造成事業についても併せて伺います。

**町づくり構想を
取り入れて**

答 町長 現在、地元まちづくり研究会が取りまとめた、まちづくり構想を取り入れながら町の基本方針案を策定し、地元説明を行っています。具体的には、中部地区は現道の拡張を基本として、幹線道路となる都市計画道路「祖母井中央通り」を中心に、東西に補助幹線道路を2路線。そのほか6mの生活道路を配置し、下水道と併せて整備する計画です。

問 地元説明会の反応は

答 町長 3割程度の皆さんが出席していますが、やはり下水道の整備、事業費をできるだけ抑えて整備してほしいという声が多く、できれば補助金を活用して実施したいと考えています。

問 事業の補助率と北部地区の実現性は

答 町長 道路については100分の55です。北部地区については早めに基本方針を決定したいのですが、なかなか難しい。地元の皆さんにも自主性を持って取り組んでいただきたいと考えます。

**芳賀高校跡地
慎重に事業を推進**

答 町長 芳賀高校跡地の住宅地としての利用について、今年度は周辺住民や、関係地権者に対する説明会を実施し、県と協議を進めてきました。順調に手続が進めば、今年7月に都市計画決定ができる見込みです。現在の厳しい経済情勢や市

場動向をふまえて、慎重に事業を推進していきます。



ホンダインサイト

**ホンダエコカー
購入補助について**

問 ホンダのエコカー、ハイブリッドカー購入補助について申請状況はいかがでしょう。また、新年度は3倍の450万円を計上していますが、内容と理由を伺います。

**補助対象を
拡大します**

答 町長 平成21年度の申請実績は、2月末現在で24件です。車種は、インサイトが23件、シビックハイブリッドが1件です。新年度の補助金450万円の内訳は、新たにハイブリッド



ホンダシビックハイブリッド

車として2月末に販売開始された、CR-Z、10月発売予定のフィットを対象とするほか、自動車重量税や取得税が75%減税される車両を対象としました。内訳は、ハイブリッド車両の商品券5万円を今年度同様に30台、75%減税車両は3万円を100台で、合計450万円となります。この事業は次の3点を目的としています。ひとつは、地元の商品券を提供することで、地域経済の低迷の中にある町内事業者を支援すること。二つ目は、排出される二酸化炭素の抑制により環境負荷を軽減すること。三つ目は、地元企業であるホンダ関連企業の開発した低燃費型自動車を普及することです。立地企業の支援を行うことです。当初予算額を超える申請がある場合は、補正予算で追加対応いたします。



マネする町づくり

私は、芳賀町から真岡工業団地に通勤して28年になります。住み慣れた町は「住めば都」なのですが、果たして若い人たちにとって本当に住みやすい町なのでしょう。全国に住みやすい街ランキング」で検索すると、芳賀町は栃木県31市町の中で25番目でした。

「生活利便性が低く、子育て安心度は高い」と書いてあり、子育て安心度が高いことでホッとしましたが、予想以上に低いランクに愕然としました。

話は少し変わりますが、今、会社ではいろいろな改善策として、トップランナーをマネすることで、大幅にレベルアップする部門もあります。会社も街づくりも似ているところがたくさんあると思います。ほかの町より良いところは伸ばして、悪いところは最先端の町をマネすることで、将来子どもたちが「芳賀町に住みたい」と言ってもらえる町に、少しでも近づくのではないのでしょうか。



北條 正美さん
(給 部)

インフラの整備を



山本 恭男さん
(上延生)

中学校入学と同時に高校受験と言う言葉を耳にします。早い生徒は一年生から、また、三年生の部活が終わると同時に、大半の生徒が塾に通うようになります。地元、真岡市、宇都宮市内と通う塾はいろいろですが、特に宇都宮市内に通う場合の送り迎えが大変です。宇都宮市内の塾に通わせたくても、送り迎えができないという声もけっこう聞かれます。さくら市に知人が住んでおりますが、その方のお嬢さんは、宇都宮市内の塾に三年間通われたそうです。幸い電車で通えたため、数えるほどの送迎で済んだようです。

昨今、格差社会と騒がれていますが、学力の格差も同じだと思います。

次世代型路面電車の夢は消えつつありますが、インフラ（インフラストラクチャー）の整備を進めていただき、宇都宮市に近くて遠い芳賀町ではなく、宇都宮市に近い芳賀町であってほしいものです。そのためには、町民の皆さんが安心して便利な交通機関ができることを望みます。

通学路に外灯を

私は、芳賀町に住むようになり10年になります。家の近所には外灯がなく、夜は懐中電灯を持って歩かなくてはなりません。子どもたちが暗い通学路を下校している姿を見ると、とても不安になります。

学校でも、複数の子どもたちで下校するよう指導をしているようですが、いずれは一人になってしまいます。暗い通学路を、毎日一人で帰らなくてはならないと言う不安を考えたことがありますか？

芳賀町内の通学路を見直し、外灯をつけることはとても大変なことだと思います。しかし、芳賀町内で不審者情報も発生している中で、子どもたちをどのように守っていくのか考えなくてはならないと思います。

子どもたちにとって、安全な下校ができる芳賀町にしたいだけのお願いたします。



酒井 由理さん
(東水沼)

議会日誌

平成22年

2月

- 12日 ・ 芳賀町水田農業推進協議会総会
- 15日 ・ 議会運営委員会行政視察千葉県御宿町
- 19日 ・ 議員全員協議会・議会運営委員会
県議長会・定期総会（宇都宮市）
- 21日 ・ 下高根沢地区合同防災訓練

3月

- 2日 ・ 3月議会定例会
- ～12日
- 6日 ・ 芳賀町公民館大会
- 11日 ・ 芳賀中学校卒業式
- 12日 ・ 議会広報常任委員会
- 14日 ・ 東水沼防災会防災訓練
- 15日 ・ 町民会館開館20周年記念事業
- 19日 ・ 各小学校卒業式
- 23日 ・ 町政功労及び町民賞表彰式
- 29日 ・ 芳賀町シルバー人材センター第2回総会
- 30日 ・ 議会臨時会
・ 議員全員協議会

4月

- 1日 ・ 町辞令交付式
- 4日 ・ 芳賀町消防団歓送迎会
- 8日 ・ 中学校入学式
・ 議員全員協議会
- 9日 ・ 小学校入学式



議会運営委員会 行政視察（2月15日）

本会の研修は、議会の活性化に積極的に取り組んでいる、千葉県御宿町（面積24・9km²、人口8千人）を研修してきました。御宿町議会は、議員数12人、総務・産業建設・教育民生の3常任委員会で構成されています。議会運営では、質問の形態と方法が対面式で一問一答方式です。発言時間は答弁も含めて90分以内、同一の議題についての質疑は3回までとなっています。また、

議員全員協議会は地方自治法上、傍聴できることになりましたが、自由な討論ができないことなどから、あらためて位置づけはしていないとのことでした。

町民に親しまれる議会として、これから年2回町公民館で住民説明会を開催する計画だそうです。本町でも、住民の代表機関として議会が十分な役割を果たしていくためには、議会運営はもちろんのこと、議員それぞれの専門性を高め、議会の活性化をより一層図っていく活動が必要であるとの認識を深める研修でした。



千葉県御宿町にて

編集室

寒かった冬からいつきに春が来て、心の中まで温かく、幸せな気分です。でも、世の中はハイチ、チリの大地震、児童虐待いじめからの自殺、DV被害と暗いニュースが続いています。バンクーバーオリンピック、パラリンピックでの日本選手の活躍は、唯一明るい話題と言えます。

昨年6月の議会だよりにも、「読んでもらえる紙面づくり」と書きましたが、全員で勉強を重ねてきました。今号から少し内容が変化し、読みやすくなったでしょうか。ご意見などいただけましたら幸いです。

3月は、予算編成の時期です。各常任委員会で細部にわたり審査し、議会で議決され、大切な税金は町民の皆様のために使われます。一票に託された重みを忘れずに、日々活動しています。頑張っている姿を見にぜひ傍聴に来てくださいませんか。

（議会広報常任委員会

副委員長 大根田和子記）

〈次回の議会開催予定日は6月1日（火）です。〉

みんなで議会を傍聴しましょう